

平成30年度第1回伊賀市地域公共交通活性化再生協議会いがまち地域部会
議事概要

■開催日時 平成30年8月24日(金) 午後7時～午後8時30分

■開催場所 伊賀支所2階・第一委員会室

■出席者 (敬称略)

【委員】

松山 宗達(柘植駅を核とした公共交通のあり方検討委員)、
柘植 美智代(柘植地域まちづくり協議会健康福祉部会 部会長)、
奥澤 重久(西柘植地域まちづくり協議会 会長)、中森 美一郎(西柘植
地域区長会 会長)、界外 直樹(壬生野地域まちづくり協議会 会長)、
池町 安雅(壬生野地域区長会 会長)

【事務局】

伊賀支所 支所長 内田 泰成、振興課 課長 稲森 真一
主査 服部 輝憲
交通政策課 課長 福岡 秀明、副参事 吉岡 徹也、
主幹 坂森 荘平、主査 吉福 将徳

■傍聴者 4人

■会議概要

1. 開会

内田支所長 挨拶

課長	お忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。また日頃より、地域振興にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。本日は、上野コミュニティバス「しらさぎ」の見直し再編についてご協議いただきたく、よろしく願いいたします。
----	--

松山部会長 挨拶

部会長	お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。議事進行につきまして、ご協力のほどよろしくお願いいたします。
-----	---

2. 協議事項

上野コミュニティバス「しらさぎ」の運行計画について

事務局から資料1～3に基づき説明

【質疑応答】

部委員	岡波総合病院が移転すると聞いた。そこは考えないのか。
-----	----------------------------

事務局	今後、どのような展開になるかわかりません。来る1月1日の段階では、これまでと同じように市民病院をルートに含んだかたちで考えています。
会長	なぜ今日の会議で、この案件を説明するのか。いがまちのバスと結節点はないと思うが。
事務局	今回のダイヤ・ルート変更の趣旨として、市役所、市民病院へのアクセス改善があります。協議会の辻本会長より、「各地域に関係することだから各地域部会へ説明するように」と言われています。行政バスとは直接の結節点はありませんが、上野市駅を結節点として鉄道や柘植線につなぐことを想定しています。
部委員	旧市内のことで、私らには関係ない。それよりも、支所・本庁を直接結ぶルートが無い。ここらの人たちは、本庁へ行くのがたいへんだ。
事務局	現行のバス路線との競合の問題があります。
部委員	実際に利用する人が、ここにアクセスするのにこう乗ったらよいというあたりを明確にしてほしい。
事務局	時刻表を見ているだけではわかりにくいと思いますので、周知できるようなものを準備したいと思います。
部委員	しらさぎは、観光利用も含むのか。
事務局	人口が減っている中、収入を増やすことを考えなければなりません。観光施設も沿線にあるので、外向きにアピールして収益を増やしていく所存です。

3. その他

【質疑応答】

部委員	私たちが生きていく間に、関西本線の複線電化を実現してほしい。鉄道はやっぱり交通の中心だ。
事務局	伊賀市だけで動くのではなく、沿線の市町と連携することが大事だと考えています。また、要望するだけでは難しいと感じています。JRの感覚では、お金を出せばよいというのではなく、利用率を大前提とした話を交渉の中で言われています。
部委員	関西本線の列車を、1時間あたり1本運行することが難しいとJRは言っている。「1時間1本確保して」と物申していくことが大事だ。最初にまずそれ。

事務局	JRからそういった話は聞いています。まず、維持することを目指していきます。
部委員	運転免許返納者への市の施策はないのか。返納者の負担が大きくなるようにするとか、市民税を減免するとか、そこくらいやってしまわないと。
事務局	免許返納については、市民生活課が担当しています。今おっしゃられた意見は、市民生活課へお伝えします。
部委員	行政がやっているのだから、赤字でかまわない。する以上はしっかりしていただいて、生きた施策になるようにしてほしい。
部会長	市広報で地域運行バスの記事を見た。バス車両は、どこが買ったのか。
事務局	業者のバスを使っています。
部会長	説明会の実施はあるのか。案外、知らない人が多い。
事務局	ちょっと話を聞いてみたい等ありましたら、ご説明にあがらせていただきます。

(以上)